TAKIZUMI

LEDペンダントライト

取扱説明書

PWL81R0090103

保証書添付 **保管用**

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 RVR80158

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

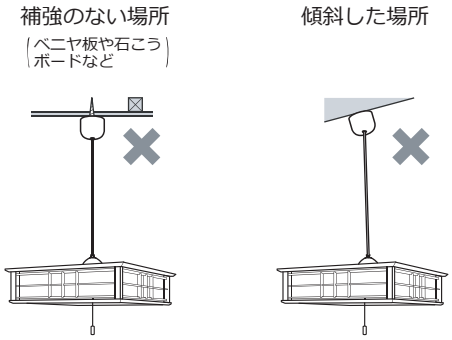
⚠ 警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



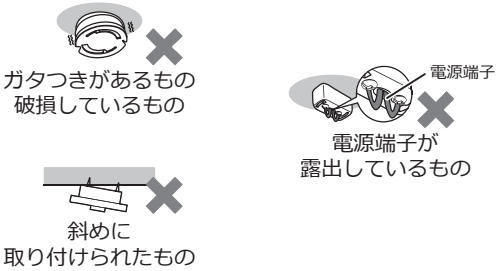
◎この器具は水平天井面吊り下げ専用です。

■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

禁止



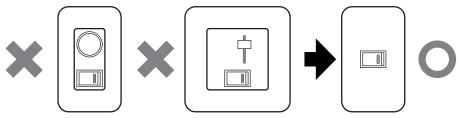
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。

必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です）

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

必ず守る

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

●スイッチ引きひもなどに、無理な力をかけないでください。

器具の落下によるけが、故障などのおそれがあります。

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください）
https://www.takizumi-denki.com/publics/index/208/

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●取り付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

必ず守る

●セードなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度が高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

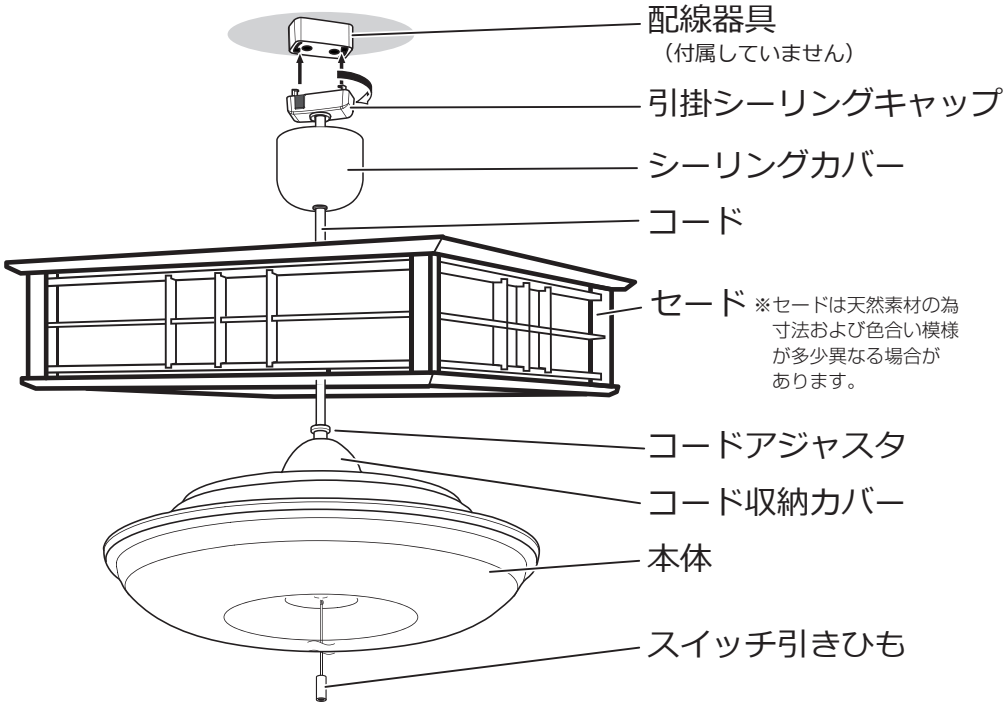
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

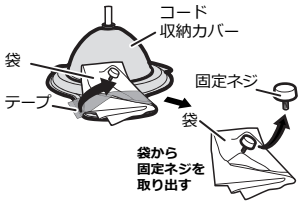
取付ける前にまず付属部品をご確認ください



付属部品

固定ネジ
1個

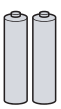
※固定ネジはコード収納カバーについている袋の中にあります。
取り出してからご使用ください。



リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-009

単４形
乾電池
２個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

照明器具を取り付ける　安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。　※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

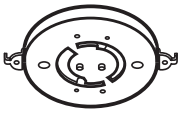
下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。	◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（工事には資格が必要です）

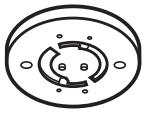
角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

丸型フル引掛シーリング

フル引掛ローゼット


引掛埋込ローゼット（ハンガー付）

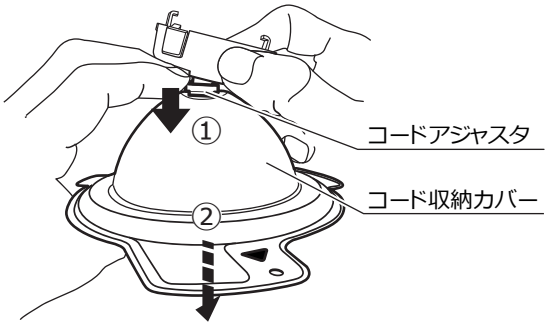

引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

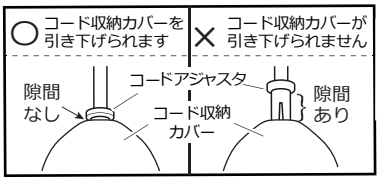
2 コード収納カバーを引き下げる

① コードアジャスタを押しこむ（下図 ○ の状態）

② コードアジャスタを押し込んだまま
コード収納カバーを引き下げる

※コードアジャスタが引きあがらないように行ってください。
下図 × の状態になりますとコードが固定され、引き下げができなくなります





<動画でも確認いただけます>

https://www.takizumi-denki.com/publics/index/209/

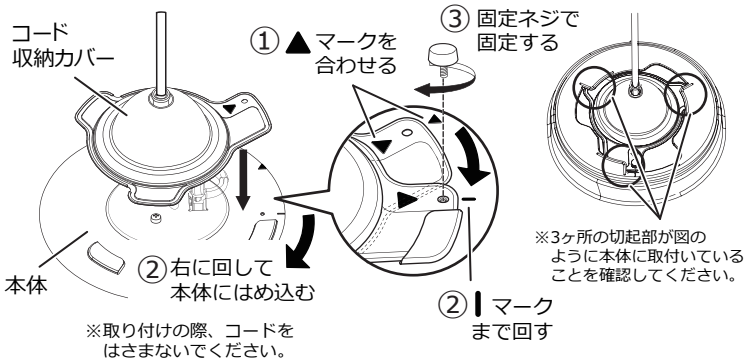
上記記のQR または 弊社ホームページの
製品情報> お客様サポート> よくあるご質問
でご覧ください。

3 コード収納カバーを本体に取付ける。

① コード収納カバーと本体の ▲ マークを合わせる。

② 右に回して本体にはめ込み、❙ マークまでまわす。

③ 付属の固定ネジで固定する。

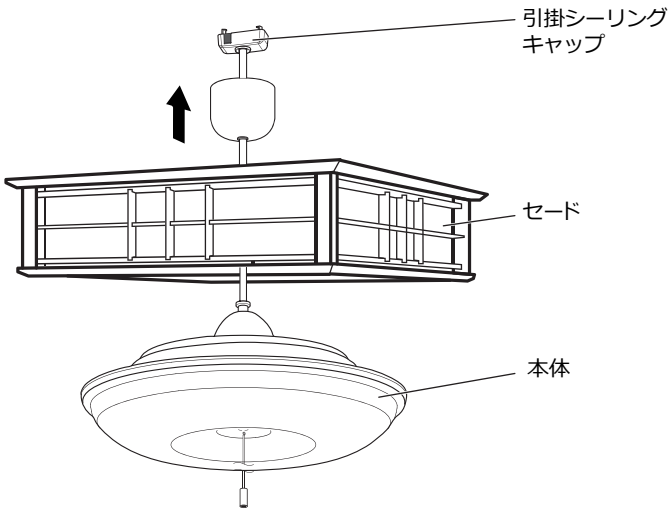


※取り付けの際、コードをはさまないでください。

確認 取付け後、コード収納カバーを左に回して、外れないことを確認する。

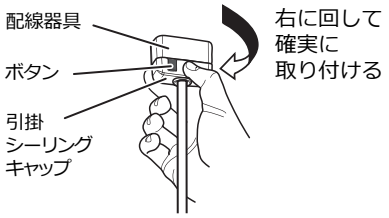
4 本体にセードをのせる。

引掛シーリングキャップをセードに通す。



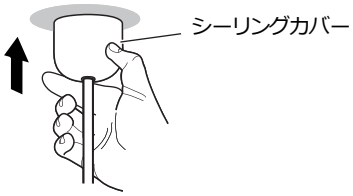
（次ページにつづく）

5 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する。



確認 取付け後、ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

6 シーリングカバーを天井面に押し上げる。



器具の高さを調節する場合は、
コードの長さを調節してください
手順 **7** 参照

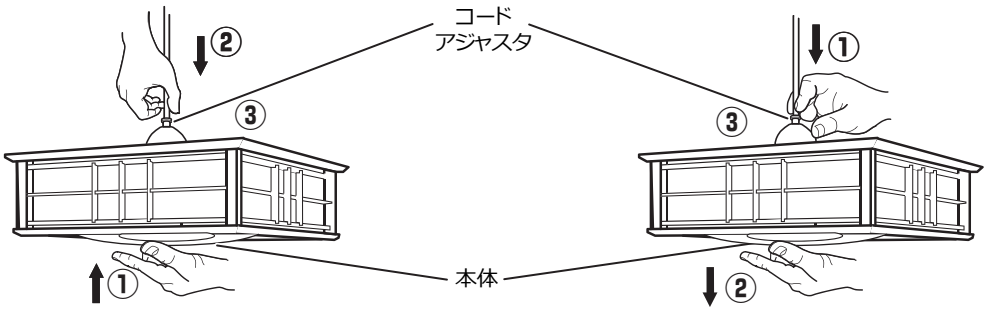
7 コードの長さを調節する。

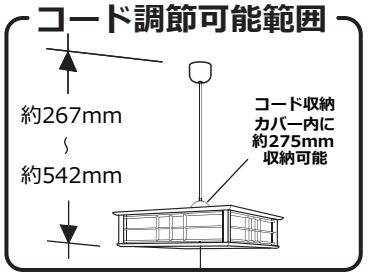
【短くする場合】

① 本体を持ち上げながら
② 本体内にコードを押し込む。
③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。

【長くする場合】

① コードアジャスタを押さえながら
② 本体を引き下げる。
③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。





寸法の表記はセードの高さを含みます。

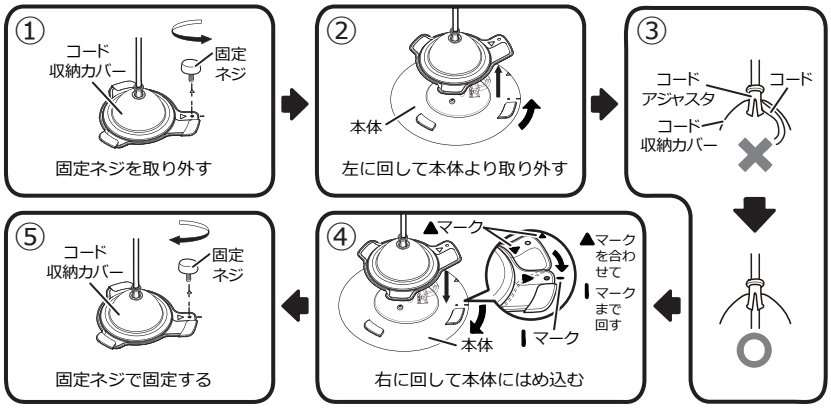
【コード収納カバーから引き出せない場合】

コードの調節ができない場合は、以下の手順で
コードの引っ掛かりを直してください。

照明器具を取り外す

① 固定ネジを取り外す。
② コード収納カバーを左に回して本体より取り外す。
③ コードがコードアジャスタ中央にくるように直す。
④ コード収納カバーと本体の ▲ マークを合わせて ❙ マークまで右に回し本体にはめ込む。
⑤ 固定ネジで固定する。※取り付けの際、コードをはさまないでください。

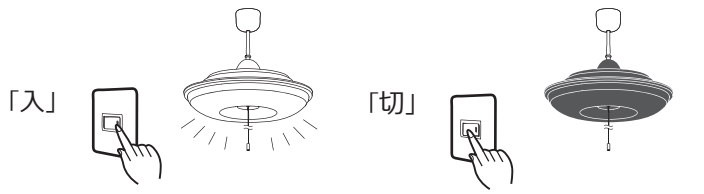
照明器具を取り付ける



あかりをつける・消す

① 壁スイッチで操作する

点灯・消灯する



記憶している前回の状態で点灯します。（初期設定：消灯）

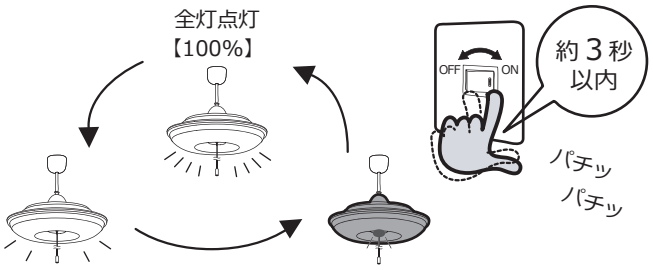
現在の状態を記憶して消灯します。

●壁スイッチをＯＮにしても点灯しない場合は、壁スイッチを約３秒以内にＯＦＦ⇔ＯＮと切り替えるか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。

●消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く（約３秒以内に）ＯＦＦ⇔ＯＮと切り替えると次の順に点灯状態が切り替わります。

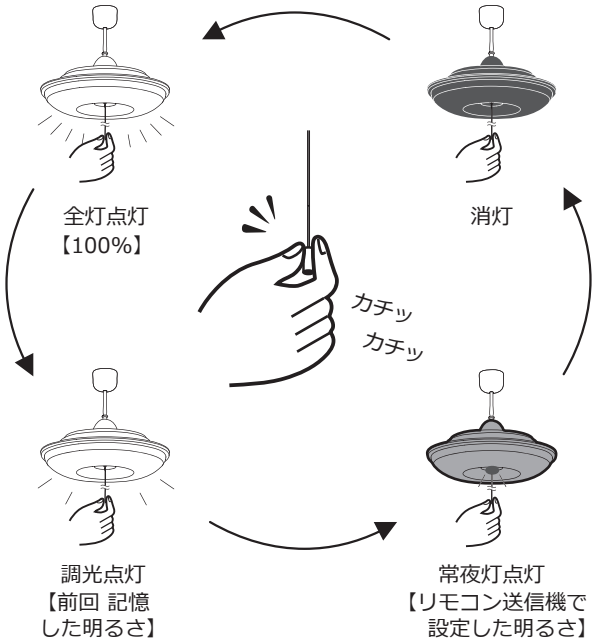


●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

② スイッチ引きひもで操作する

点灯状態を切り替える

スイッチ引きひもを引くたびに図の点灯状態に切り替わります。



故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因		参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがＯＦＦになっている。	➡	壁スイッチをＯＮにしてください。 ⇒5ページ・・・
リモコンで操作できない。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒7ページ・・・
	リモコンの電池が正しく入っていない。	➡	リモコンの電池を正しく入れてください。 ⇒6ページ・・・
	リモコンの電池が消耗している。	➡	リモコンの電池を交換してください。 ⇒6ページ・・・
勝手に消灯する。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分がセットされている。	➡	ｏｆｆタイマー３０分／６０分を解除してください。 ⇒6ページ・・・
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡	壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒5ページ・・・ リモコンまたは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替えてください。 ⇒5ページ～6ページ ・・・

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

全灯・消灯ボタン

全灯、消灯を行います。
押すたびに 全灯⇒消灯⇒全灯 を繰り返します。

全灯状態を長押し（３秒以上）で、操作する
照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒（7ページの２台までのリモコン照明器具を操作するを参照）

- この器具は、リモコンで消灯している場合約１W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをＯＦＦにしておくことをおすすめします。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。
調光範囲：明暗上下5段階
初期設定：最大の明るさ（５段目）

メモリー点灯ボタン

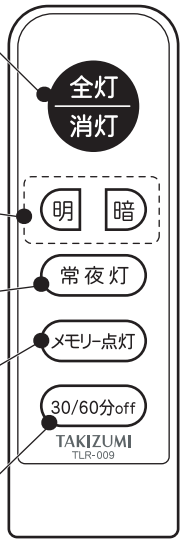
メモリー設定操作をした「明るさ」で点灯します。
ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定（明るさ：100%）
⇒（同ページ下の点灯状態を調節し記憶させるを参照）

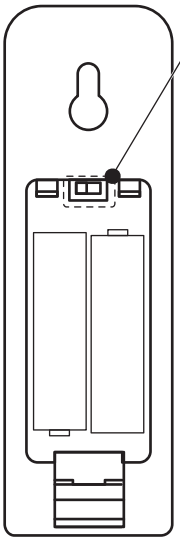
offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または
60分後に自動消灯を行います。
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと
' ピー ' とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

押すごとに下記の動作を繰り返します

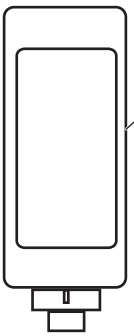
60分後消灯（「ピッピッピッ」と音がする）→ 30分後消灯（「ピッピッ」と音がする）→





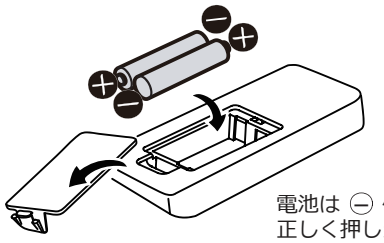
チャンネル切替スイッチ

チャンネル切り替えスイッチは電池蓋の中にあります。
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（7ページの２台までのリモコン照明器具を操作するを参照）



電池蓋

電池の入れ方



リモコンのフタを開けて
単4形乾電池2本の ⊕⊖を
正しくあわせて入れる

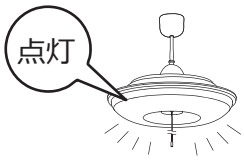
電池は ⊖ 側接点をリモコンのバネに
正しく押し当てながら装填してください。

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

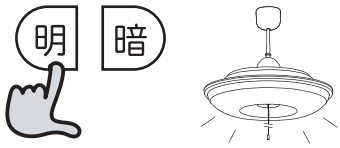
点灯状態を調節し記憶させる

リモコンのメモリー点灯ボタンで、お好みの明るさを記憶することができます。

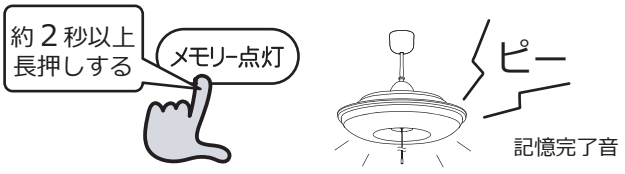
① 照明器具を点灯させる。



② リモコンの「調光ボタン」を押してお好みの明るさに調節する。



③ お好みの明るさに調節後、その状態でリモコンの「メモリー点灯ボタン」を長押しし、点灯状態を記憶する。



- リモコンで「明るさ」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリー点灯ボタンに記憶した「明るさ」で点灯します。

④ リモコンの「メモリー点灯ボタン」を押すと③で記憶された明るさで点灯します。

- 常夜灯はメモリー点灯ボタンで記憶できません。
- 出荷時は全灯状態が記憶されています。

リモコンの便利な使いかた

２台までの照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます。

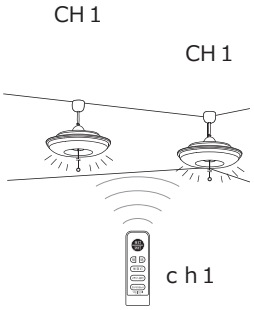
チャンネル設定でできること

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで２台の照明器具本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

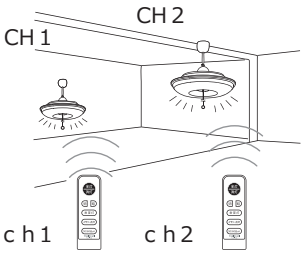
● ２台の器具を同時に点灯できます。

(例)
1部屋に2台の
リモコン
照明器具が
ある場合



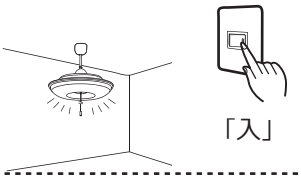
● ２台の器具を別々に切り替えて操作できます。

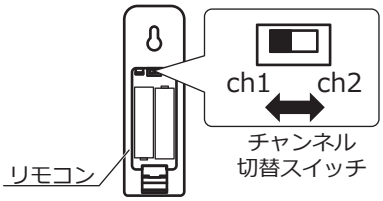
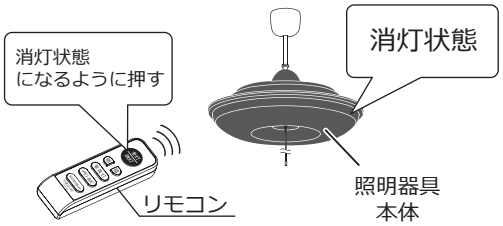
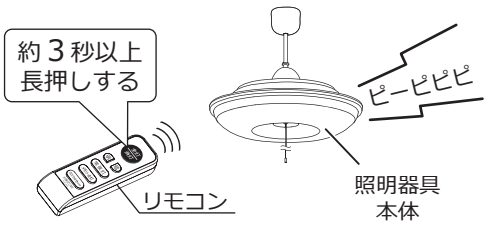
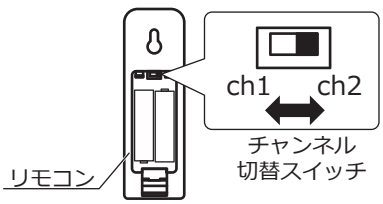
(例)
隣室にも
リモコン
照明器具が
ある場合



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



照明器具本体を**ch2** に設定する場合	照明器具本体を**ch1** に設定する場合
① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具（１台）のみを壁スイッチONにする。	① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具（１台）のみを壁スイッチONにする。
 ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。	 ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。
 ③ リモコンの 全灯 消灯 を押して照明器具を 消灯状態 にする。	 ③ リモコンの 全灯 消灯 を押して照明器具を 消灯状態 にする。
 ④ 照明器具本体にリモコンを向けて、全灯 消灯 ボタン」を約3秒以上、長押しする。 「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1→ch2** へ切り替わります。 ※この時は、全灯状態になります。	 ④ 照明器具本体にリモコンを向けて、全灯 消灯 ボタン」を約3秒以上、長押しする。 「ピーピピピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2→ch1** へ切り替わります。 ※この時は、全灯状態になります。
 ⑤ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。 照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。	 ⑤ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。 照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ご使用上に関するお知らせ

【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯直後にプラスチックや木などの構成部材によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●LED、豆球にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

お手入れについて

●電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
●セードにキズがつくおそれがありますので、本体からセードを取り外してお手入れを行ってください。

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません）**

●使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

●リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

仕様

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：22.9W　常夜灯： 約1.3W　待機時：1W以下	0.24A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書　　**※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。**

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. 二次販売、ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。(本体、LED器具の点灯装置)　但し、セードおよび付属部品は**1年間**です。
お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の**長時間の使用の場合は、**上記の半分の期間とします。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による**故障および損傷**
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災**地変**および公害、**塩害、ガス害**(硫化ガスなど)、**異常電圧、指定外の使用電源**(電圧、周波数)などによる**故障および損傷**
(6)一般家庭用以外(**例えば業務用等や車両、船舶等に搭載**)に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、**下記「お客様相談室」**までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造**打ち切り後最低6年間保有しています。**
(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※**保証書に明示した期間**、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	**RVR80158**	**保証期間** **(お買い上げ日から)**	**本体、LED器具の点灯装置　：5年間** **セード、付属部品など　：1年間**	**お買い上げ日**	**年　月　日**
お客様	**お名前** **ご住所　〒　－** **電話番号　(　　)　－**			**販売店名・住所・電話番号**	

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

Sample (見本)

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社
〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」フリーダイヤル 0120-226-544
受付時間/月～金（土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く）9:00～17:00
http://www.takizumi-denki.com/